

就学援助・入学準備金が小・中とも2月支給へ



9月中旬に「学校案内」に申請書および案内書を同封することになっています。

荒川区就学援助・入学準備金			
年度	区分	要保護	準要保護
2018年度	小学	40,600円	40,600円
	中学	47,400円	47,400円
2017年度	小学	40,600円	23,890円
	中学	47,400円	26,860円

要保護 = 生活保護世帯
準要保護 = 荒川区は生活保護基準の1.2倍までの収入世帯

5倍に引き上げるなど求められます。



「と実施しています。」

就学援助の支給金額が実際に必要な費用に見合っていない。そのため、要保護含めて就学援助の支給額を現実に合わせ、援助を利用する基準を生活保護の現行1.2倍から1.5倍に引き上げるなど求められます。

学校給食無料化の同時には、学校給食料に学校給食無料化に、国料化に、区独自に実施するよう求められます。

貧困がひろがる中で子どもの食のセーフティネットとなり、子どもの健康や発達を支える学校給食の果たす役割がますます大きくなっています。無償化は、子どもの貧困の改善にも大きな役割を果たすことが期待されます。2012年から無償化にふみ切った栃木県大田原市では、「市民みんなで子どもたちを育てる」という精神が根付くことは、国を挙げて取り組んでいる少子化対策のヒントにもなります。子どもたちがやがて大人になり、給食費無料化の理念を理解し、進んで納税や自分の子どもに積極的に教育を受けさせた時、食育と徳育が実を結ぶことになり

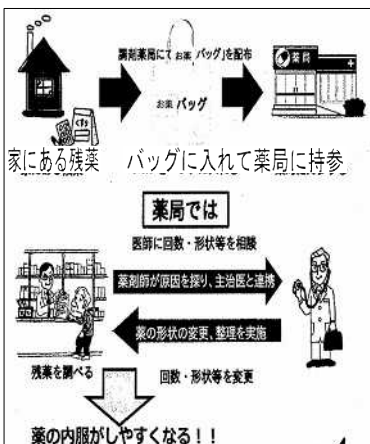
お薬バッグで飲み残しなどを管理します



病院で処方してもらったお薬の飲み忘れなどで残ってしまうことがあります。

1ヶ月、2週間後にまた薬をもらい増え続けます。また複数の医療機関を受診し、同じ薬を処方されたり、薬の組み合わせが悪く副作用が起きることもあります。

飲みづらい薬もあります。お薬手帳で管理していますが、さらに薬剤師の訪問(11月上旬から)やお薬バッグで薬局に持参し(10月上旬から)服薬管理をすすめます。



日本共産党荒川区議団
小林行男

区政ニュース

NO. 699
2018.9.16

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.ne.jp

ホームページ

http://www.tcn-catv.ne.jp/jcpara/

東尾久相談室

東尾久2-37-3
TEL・FAX

3895-0508

法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。また、暮らし・区政などのご相談はいつでもお気軽に

**9月の相談会は、
9月18日(火)**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。

区議会・9月会議、2日目、本会議での一般質問

日本共産党の

斎藤くに子区議の 質問項目

1 健康で文化的な最低限度の生活を保障するために

生活保護基準引き下げの影響調査と実態を政府に上げること。

保護の基準引き下げで生活保護廃止になる世帯などへの支援を。

生活保護申請を諦める人が出ないようにホームページやしおりを見直すこと。また医療扶助単給について区民に具体的に周知すること。

熱中症対策エアコン助成は来年も実施すること。また都営住宅へのエアコン設置を東京都に求めること。

生活保護の夏期手当を政府に求め区として法外援助を行うこと。また本人非課税高齢者には7月8月に電気代補助を創設すること。

2 保育の質と安全確保、保育要求に応えるために

産休代替や延長保育は常勤で。保育士を確保し病欠などに対応すること。

0才児11時間開所は常勤保育士の増員と私立保育園への財政的補助で産休あけから実施すること。

3 高齢者の認知症予防と聴こえの改善について



高齢者調査で「聴こえに障害を感じているか」の項目を設けること。

健康調査の項目に聴

力検査を入れるよう、国に働きかけるとともに、区として65才以上の健康診断に聴力検査を加えること。

高齢者への補聴器購入助成を始めること。

4 東京女子医大移転後の医療機関誘致について

誘致実現に、東京都の責任も明確にして連携を密にすること。

災害拠点病院の体制、現診療科目継続や新病

院の役割、現在求められる医療と介護の連携など区の方針をはっきりさせて臨むこと。

医師、看護師の確保を医療機関任せにせず区も協力すること。

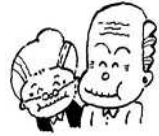
5 荒川の暮らしに恵まれた観光文化行政について

伝統工芸を重要な観光文化資源と位置づけ発信すること。

若手クリエイターに活躍の場を提供下町荒川の観光の一つとすること。

息づいている生活や仕事観が観光文化に繋がる発信の仕方考えること。

東京芸術大生の発表の場をつくり区民との文化芸術交流を広げること。



シルバー人材センターの「配分金」 最低賃金引き上げとともに引きあがることに

最低賃金は、毎年10月に改定されます。

今年は、東京都で時給958円ですがプラス27円引きあがり、985円になる予定です。区がシルバー人材センターに委託している仕事は、一年契約で10月の改訂があってもそのまま据え置かれているため、最低賃金が割り込む状況になることも。一般就労と違い、支払われるのは賃金ではなく「配分金」とされています。しかし、多くの高齢者は生活費の補充として就労しています。東京都シルバー人材センターも「最低賃金を下回らないように各団体をお願いしている」とのことです。昨年、こうした状態に対して区に改善の申し入れも行いました。

あらためて、本会議で質問しました。

区は、「最低賃金を下回らないような金額設定となるように契約を行う」と表明しました。



あらかわ佐渡おけさ祭り



9月30日(日) 午前10時から
午後4時30分
冠新道商興会で



圧倒する佐渡おけさ
ぜひお出かけして
みてはいかがでしょう
か。



○9月13日に沖縄知事選挙が告示されました。「普天間基地は即閉鎖、新たな基地は作らせない」当たり前のことを実現させたい。10月1日から東京・横田基地に危険な欠陥機C V 2 2 オスプレイが正式配備されるという。すでに低空飛行訓練が始まっています。日米地位協定の下、日本の法律を無視して訓練が……。やめさせたい。